

YMFG NEWS RELEASE

2021年3月16日

各位

株式会社山口フィナンシャルグループ
株式会社YMFG ZONEプランニング

経済産業省「STEAMライブラリー」向けに教育コンテンツを開発、公開 ～リージョナル・バリューアップ人材育成プログラム～

山口フィナンシャルグループ（取締役会長グループCEO 吉村 猛）の子会社であるYMFG ZONEプランニング（社長 藏重 嘉伸）は、経済産業省『「未来の教室」（学びの場）創出事業』のコンテンツ制作事業者に、地域金融機関として唯一採択され、新たな地域価値の創り手を育むことを目的とした教育コンテンツを開発し、同省「STEAMライブラリー」に公開したことをお知らせいたします。

記

1. 開発した教育コンテンツの内容

(1) テーマ

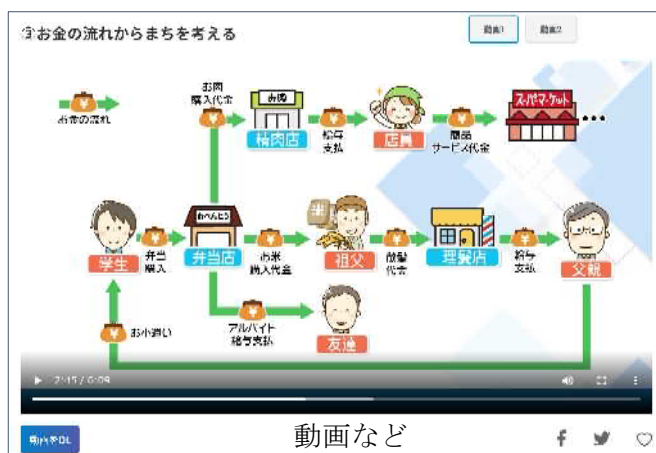
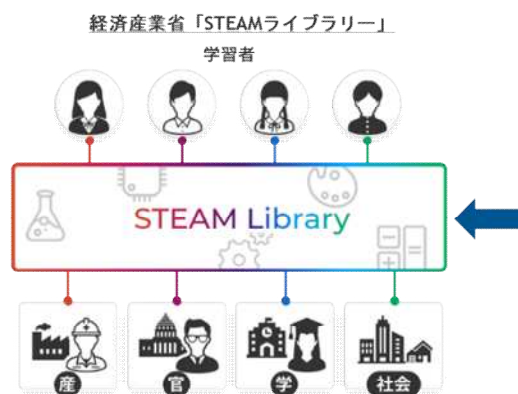
地域経済循環における課題解決（全10コマ、動画20本で構成）

（公開先リンク：<https://www.steam-library.go.jp/content/31>）

(2) コンテンツ概要

教育における探究・プロジェクト型学習（PBL）をより実践的なものとするコンテンツを経済産業省「STEAMライブラリー」向けに公開しています。地域循環共生圏を形成するためのリーダーが地域にいないという課題を解決するため、コンテンツではお金の流れ（地域経済循環）という切り口から、地域の現状を把握し、自身と地域の課題について多面的に考えるとともに、論理的に課題を解決する手法と、提案を実現するために必要な考え方を学びます。

<オンラインプラットフォーム「STEAMライブラリー」イメージ>



※ STEAM は、科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、人文社会・芸術・デザイン等(Arts)、数学(Mathematics)の頭文字です。

2. 経済産業省「STEAMライブラリー」について

経済産業省は、「学びのSTEAM化」を実現するために、学校・研究機関・産業界と協業の上、授業にも個人探究にも使えるデジタル教材集を開発し、「STEAMライブラリー (<https://www.steam-library.go.jp/>)」として公開しました。各教材は、従来の教科の枠組みにとられない統合的・学際的な社会課題や身近な生活課題を取り扱い、SDGs（国連持続可能な開発目標）の17項目にも紐付けられています。

＜当社が開発したコンテンツが関連するSDGsの項目＞



3. 今後の予定

YMFZ ZONEプランニングでは、本コンテンツ開発と別に、経済産業省「未来の教室」実証事業の一環で、広島県立廿日市高等学校の総合的な探究の時間において、地域課題解決に経済の視点を取り入れたカリキュラムを組成し、探究・プロジェクト型学習に参画しています。

今後は、自治体や高等専門学校等の教育機関と連携を図り、探究・プロジェクト型学習に本コンテンツを用いて、地域価値を創出することができる人材の育成を目指します。



4. その他

本コンテンツに係る詳細については、別紙資料をご参照ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社 YMFZ ZONE プランニング（担当：樫部、河野）
TEL：083-223-4202

「地方創生はあなたのまちを救えるか？」 (株式会社YMFG ZONEプランニング)

本コンテンツでは、お金の流れ（地域経済循環）という切り口から、地域の現状を把握し、自身と地域の課題について多面的に考えるとともに、論理的に課題を解決する手法と、それを実現するために必要な考え方等について学びます。

概要

コンテンツ詳細

取扱うSDGsの項目



取扱う教科 / 単元

- ◆ **社会**
 - 政治・経済—現代日本における政治・経済の諸課題の探究、現代の国際政治・経済
 - 地理総合—生活圏の調査と地域の展望
 - 地理探究—資源、産業
- ◆ **国語**
 - 国語表現—話すこと・聞くこと
 - 論理国語—書くこと
- ◆ **商業**
 - ビジネス基礎—資金調達、財務諸表の役割

協力 / 連携先



◆ 課題解決に向けた4つのステップ ◆

① 観察

地域に関する様々なデータの分析や、ヒアリングによる情報収集を通じて、地域の現状を分析します。

【コンテンツイメージ（抜粋）】



身近なお弁当屋さんでお金の流れをイメージします

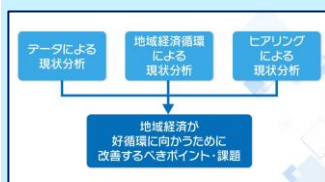


地域経済循環をデータから分析します

② 認識・仮説立案

観察で明らかになった地域の現状を整理し、課題を設定するとともに、取るべき解決策の仮説を立案します。

【コンテンツイメージ（抜粋）】



各分析から地域経済の好循環に向けて改善すべき点を整理します

仮説を立案し、アイデアシートを作成します

③ 仮説の検証

関係者への仮説の提示と修正を繰り返すことで、現実に適したアイデアに磨き上げます。

【コンテンツイメージ（抜粋）】



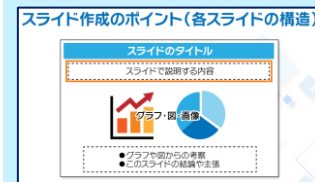
仮説検証の必要性について学びます

事業化に必要な収支計画の作成ポイントについて学びます

④ 解決案作成・行動

賛同を得るための発表のポイントを学ぶとともに、地域課題の事業化事例を学び、行動への意欲を高めます。

【コンテンツイメージ（抜粋）】



発表スライドの作成ポイントについて学びます



実際に地域課題の事業化に向けてチャレンジする事例を紹介します